

# いけだ 議会だより かけはし

No.81

平成 24 年 3 月 30 日

発行／北海道池田町議会  
編集／池田町議会広報特別委員会  
〒083-8650 中川郡池田町字西1条7丁目  
☎015-572-3161 FAX015-572-5158

第 1 回定例会  
3 月 5 日から 16 日

## 介護保険料見直しへ 月額 4075 円に

24 年第 1 回定例会は 3 月 5 日から 16 日まで開かれ、町長（3 件）・教育委員長（1 件）から行政報告と新年度の執行方針が示されました。本定例会では諮問 1 件、継続発議 1 件、継続陳情 1 件、辺地計画変更 1 件、規約変更 1 件、意見書 1 件、発議 1 件、23 年度補正予算、条例改正 1 件、予算審査特別委員会に付託した新年度予算案と予算関連の条例改正についての審議を行い、可決しました。  
一般質問は 5 議員が 9 項目について行いました。

### 保険料軽減へ基金 3500 万円取崩し

24 年度からスタートする第 5 期介護保険事業計画に基づき、負担の急な増加を避けるため、介護給付費準備基金 3500 万円の取崩しを含めた保険料の見直しが行われました。

現行 3287 円の基準月額が 4075 円に改正されます。また新たに所得金額 120 万円以下の方の保険料率を低減する規定が設けられます。  
（24 年 4 月 1 日施行）



十勝広域森林組合の製材工場建設予定地（利別南町）

### 23 年度補正予算

国の 3 次・4 次補正予算が成立し追加した補正予算、一般会計および特別会計 1 件、企業会計 1 件を可決しました。

#### 主な事業

○農地の排水改善 ほか  
2 億 4465 万円  
○十勝広域森林組合製材工場整備補助  
2 億 9093 万円

○池田中学校に災害時用発電機設置  
2982 万円

○池田中学校旧校舍解体ほか  
1 億 4632 万円

### 都市計画税条例を廃止する条例を可決

23 年第 4 回定例会で、三坂一茂議員から同条例の廃止に関する提案があり、条例審査特別委員会（春井良夫委員長）に付託されました。  
本定例会では、委員会報告の後審議し、全会一致で可決しました。

（関連記事を 4 ページに掲載しました）

### 24 年度予算、大幅減へ

24 年度の一般会計は池田中学校改築など大型事業が終了し、前年度比 32・5% 大幅減、55 億 7103 万 7000 円になりました。

国民健康保険（国保）など特別会計と水道事業など公営企業会計を合わせると、総額 106 億 103 万円で、前年度当初予算比 30・6% の減となります。

#### 新年度の主な事業

○9 丁目公営住宅解体  
750 万円  
○旧利別第 5 団地解体  
250 万円  
○旧大森コミセン解体  
1200 万円  
○水道料金負担軽減補助  
2000 万円  
○コミバス試験運行補助  
215 万円



# 町政の課題を問う！

第1回定例会での一般質問は3月12日に行われ、5人の議員が町長に対し、町政の抱える課題9項目、質問しました。

- 常盤会館建設費補助 1000万円
- 十勝いけだ地域医療センター人工透析改修ほか 1億2564万円
- 病院事業会計負担金 2億5473万円
- 除雪機械購入 1692万円
- 公営住宅2棟4戸整備 6768万円
- 5丁目、4丁目、富士通歩道整備など 2470万円
- 三日月公園改修 400万円
- スクールバス購入 1100万円
- 池田中学校改築事業 1億6550万円
- 図書館移転 7510万円
- 水道石綿管更新 7000万円
- 下水道プラント設備更新 1億1800万円

## 西坂建設株式会社 指名停止期間を緩和 する陳情を採択

本陳情は、24年第1回臨時会で、総務産業常任委員会(森田悦典委員長)に付託されました。同委員会で審査の結果、不採択すべきものとされ、本定例会で委員長から報告されました。報告後、討論を行い、起立採決の結果(採択6人、不採択5人)、採択と可決しました。



陳情書を提出する  
田岡商工会長(右)

## 24年第1回定例会 指名停止期間緩和に関する陳情

### 採択、不採択で討論

総務産業常任委員会に付託されていた「西坂建設株式会社の指名停止期間緩和に関する陳情」で、不採択とした委員会審査報告を受け、討論を行い、陳情に対する採決の結果(賛成6人、反対5人)賛成多数で採択しました。

本特集では討論(要旨)を掲載しました。  
※発言順。

#### 賛成討論(田井秀吉議員)

談合は法に反する重大な行為と認識しているが、指名停止事務処理要領にその後の処分や判決によって明らかになった事情を考慮し、適切な指名停止期間が見直される規定がある。基本的な定めに2倍の差がある道の基準に合わせる不合理など、町は発注当事者として、自らの基準で主体的に公正に対応すべきで、緩和を求める陳情に賛成する。

#### 反対討論(窪田豊満議員)

今回の事件は官製談合である。検察は官製談合防止法違反と偽計入札妨害罪で起訴、裁判所はそれぞれ罰金の略式命令を出した。陳情では金品が絡んでなく軽い刑で、町の処分は重すぎるので緩和してほしいとのこと。しかし、町の処分理由には贈賄は入っておらず認識が間違っている。公平な社会の実現は時代の要請であり、今後、不正をなくし公正な地域社会・経済の実現への断固たる処分と考え、町長の決意を支持する。よってこの陳情は不採択とすべきである。

#### 賛成討論(丹羽泰彦議員)

西坂建設の指名停止期間は、本町規程の最長12か月に、極めて悪質または重大な結果を生じさせたものとして特例規程を適用し、8か月を加重したものであるが、同社社長と同じ量刑が確定した町職員については、極めて悪質、あるいは重大な結果を生じさせたとは言いえないとの判断による懲戒内容となっている。ついては、加重の特例を適用した停止期間も見直すことに合理性を欠くことはないと思う。公平・公正な行政執行の上からも、速やかに処分・措置の均衡を図るべきである。

## パスポートの発給

町内で申請し、受領できないか  
平成25年秋をめどに実施したい

大本議員 現在、申請事務は帯広駅の「とかちパスポートセンター」で行われている。本町は国際交流が盛んで、パスポートを必要とする住民は多い。管内7町が申請事務を行っており、10月からは、さらに3町で実施される。町民の利便性を考え、実施すべきでは。

勝井町長 役場窓口でパスポート申請事務を行うには、道の条例改正、職員の研修などの準備が必要であり、開始まで約1年半を要する。24年度から準備し、25年秋ごろの開始をめどにすすめたい。



新たな利活用が検討されている旧高島中学校校舎

## 旧高島中学校 閉校後の利活用はどうか

希望が出てきている教員住宅の利活用策は。いつ結論が示されるのか。

永田議員 3月末で閉校となる高島中の利活用策について、老朽化している高島診療所、高島生活館、近牛の郷土資料庫を校舎などに移設すべきと考えるが。また、利用

勝井町長 体育館は解体するが、校舎については現在、具体的な活用方法は決まっていない。24年度中には、方向性を示したい。現在3戸ある教員住宅の2戸は小学校の教職員住宅にする予定。1戸は、廃止する方向で検討している。

## 消防無線デジタル化

価格低下をうけ、事業費の見直しは  
本年度の基本設計で算出される

窪田議員 近年メーカーの技術開発が進み、整備費が大幅に圧縮されたこと、23年度第3次補正で財政支援が手厚くなったことで、共同整備から単独に方針転換した地域もある。十勝でも状況変化を受け、単独整備と比較検討すべきではないか。

勝井町長 国の有利な3次補正については、市町村長会議で検討したが、発注から完成までの期間が1年では無理と判断し見送られた。本年度実施する基本設計で、単独整備と共同整備の費用比較が算出される。(このほか「介護保険について」「小規模介護老人保健施設増床」「人工透析について」を質問しました)

## 官製談合防止策

改善委員会の検討視点は  
3点を柱に方針を作成進める

田井議員 全職員を対象にコンプライアンス研修を実施した。議員として参加し、改めて倫理意識・モラルの向上を意識させられた。信頼される行政運営の取り組みに向け行政事務改善委員会で検討する主な視点は。

勝井町長 ①適正な入札制度改革②組織・機構の見直し③職員の研修・倫理規定の3点を柱に方針を作成し、行政事務改善委員会で具体的に進める。今後の制度改革や職員の倫理規定、コンプライアンスマニュアルの作成で信頼される行政運営にまい進したい。



### 池田高の生徒確保 家庭の負担軽減も必要では

効果ある事業内容を検討する

春井議員 現行の1学年3学級を維持するため、経済動向や少子化を考えると、緊急な課題として生徒へ通学・入学の支援など、家庭の負担軽減も大きな選択肢となるのではないかと。

勝井町長 現在行っている支援も十分な効果があったとは言い切れない。関係各所と連絡、調整を図りながら事業内容を検討していきたい。

### 職員の給与削減 臨時特例法附則についての見解は

独自削減することは考えていない

春井議員 国家公務員給与の臨時特例法が成立した。地方公務員には、付則で自治体の判断に委ねられた。本町はこの10年間、職員給与を独自削減してきた。これ以上の削減は職員の士気低下になるのではないかと。

勝井町長 独自削減することは考えていないが、道や他の自治体の状況をみながら判断したい。



▲ 池田高校の生徒数確保のため、町の有効な対策が期待されている。 ※写真は登校中の池田高校生。

## 25年4月、都市計画税廃止へ

平成23年第4回定例会条例審査特別委員会

23年12月に開かれた第4回定例会で議員提案された「都市計画税条例を廃止する条例」が、条例審査特別委員会で2月15日、27日の2日間、議論されました。

—2月15日—

この日、提案議員の説明を受けました。委員からは資料請求が求められ、後日、担当職員の説明を受けることとしました。

—2月27日—

この日は請求した資料を基に各担当課長から説明を受けた後、審議しました。委員からは『大きな都市計画事業もほぼ完了し、十勝管内でも1市3町が適用しているだけの都市計画税の負担を町民に求めるのはおかしい』との意見が大半を占めましたが、原案の施行日、24年4月1日に廃止するのは、事務手続上困難なことから、施行日を25年4月1日とする修正案が出され、全員一致で可決しました。

## —臨時会—

24年臨時会が1月23日と2月15日に開かれ、第1回では新副町長の選任が提案され可決、第2回では条例、補正予算を可決しました。

第1回 1月23日

新副町長に久野正氏

佐々木副町長の辞任に伴い、後任に久野正氏(企画財政課長)の選任が提案され、採決の結果、賛成多数(賛成9人・反対2人)で同意しました。



久野新副町長

官製談合事件を受け、町長の給与を2か月間、50%減額する条例と、条例・食肉センター条例をそれぞれ一部改正、これに関連する一般会計補正予算を可決しました。

第2回 2月15日

町職員の給与に関する条例の改正

24年度から適用する、職員の給与に関する条例の一部改正ほか条例4件、公の施設の指定管理者の指定の議決変更2件、決算見込に伴う一般会計補正予算8件の議案を可決しました。

# 平成24年度予算審査特別委員会

予算審査特別委員会(森田悦典委員長)は、3月13・14日の2日間、24年度の予算を審査しました。慎重に審議した結果、一般会計を含め、9会計について、賛成多数で認定しました。特集では、質疑をQ&A形式でご紹介します。

### 一般会計(歳出)

臨時・嘱託職員の報酬などの決め方は。

高卒初任給を参考に、嘱託職員は勤務年数、職種などを考慮して決めている。統一した考えで決めたい。

庁舎警備・ポイラー管理委託は一体化した方が効率的では。

今後検討したい。

大規模な改修はしない方針だ。塗装で10年程度の延命を図っている。コメン住宅が老朽化している。入居者もおり、今後の方針を示すべきでは。

大規模な改修はしない。コメン住宅に限らず方針を決めたい。

高齢者給食サービス事業で、事業者の減少に対する対応は。

現在4社が実施している。条件整備とボランティアの活用も考えている。

新規就農支援育成は。

農地の賃借料・資金利子・固定資産税などに対する補助、基準以下の所得に対する支援などがある。

観光協会のあり方は検討しているか。

組織のあり方を含め、今後3年間で検討する予定。

策は。

行き届いていない。人力に頼るしかない。努力したい。

除雪機械を入れても、高齢化など人的確保に問題がある。農家個人との契約も考えては。

高齢化に対する抜本的な対策はない。管内でも農家個人と契約する例はあるが、トラブルも発生している。会社に登録し契約する方法が良い。

富士通歩道整備は。自転車通行など危険である。

用地がなく歩道拡幅できない。出入口の切下げ改良、縁石取替など現状のなかでの整備しかできない。

ボール場の整備と時期は。

暗きよ工事であり、水が抜ければ練習場にも使用できる。時期は教育委員会とも協議する。

三日月公園整備の内容は。排雪場所としての有効利用も考慮すべき。

遊具の入替えと撤去、ベンチの設置である。場所は排雪も考慮し決めたい。

芸術文化事業協会が解散したが、今後の事業は。

田園ホール指定管理者が、引継いで行くことが望ましい。ノウハウを一度に引継ぐことは難しいが、応援したい。

### 国民健康保険事業 特別会計

保険証の滞納者などに対する交付は。

滞納者への資格証明証は、分割納入を相談し交付している。以前、切替時は窓口交付だった。現在は居所不明者を除き、郵送で交付している。

### 水道事業会計

中期財政計画で、中継ポンプ室の非常用発電機の設置を予定している。一箇所ずつ必要か。移動可能な発電機で対応すべきでは。

停電時の送水は数時間分は大丈夫と思われる。提案を含めて最善の方法を検討したい。

### 病院事業会計

病院事業の負担金が、眼科・人工透析の実施に伴い増加している。事業量と効果は。限度額を決めるべきでは。

専門職を採用し、機器などの整備も必要となる。医療は効果を計るのが難しく、現段階で限度額を決めるのは難しい。



# 委員会レポート 町の仕事をチェック！

23年第4回定例会が閉会してから24年第1回定例会までの間に実施した総務産業常任委員会と文教厚生両常任委員会の所管事務調査の内容を報告します。

## 総務産業

### 『行政評価・財政推計』

1月24日

外部評価に効果、速やかな反映に課題も

23年度の行政評価と9月補正後の予算額を基本に策定した中長期の財政計画について担当課職員から机上にて説明を受けた結果、次の通りであった。

### 行政評価

23年度 329事業のうち34事業を抽出して三段階で評価した結果、現状で継続、または改善して継続すること、としている。

今後は行政評価を踏まえ、事業の見直しなどを組織として速やかに改善し、行政運営に反映させるかが重要なポイントとなる。

## 中長期財政推計

24年度～33年度（10年間）の財政推計の基本事項の説明を受けた。歳入は50～59億円台で推移、町税は人口減に伴い減り、10年後、約1億3800万円減額、地方交付税は約5500万円減る。

歳出も50～59億円台で推移し、基金残高は24年度、約13億円が10年後の33年度末、約16億円となると推計している。

今後、国の財政事情によつては交付税が大幅に減額となることが考えられ、歳出を抑制し、より効率的な事業展開が求められる。

### 『公園長寿命化』

1月24日

ライフサイクル縮減に向け、計画を策定

本計画は、町内の都市公園など10か所を始め、

## 委員会レポート

エコジョーパーク（池田地区内）などの施設の老朽化による安全の確保のために点検を実施し、総事業費約4000万円を投じて老朽化した施設を10年計画で整備、長寿命化を図るものである。

計画を作成することができ、少子化対策の一環としても有効な事業である。



老朽化が進む公園の遊具

## 『指名停止期間緩和に関する陳情』

処分緩和求めた陳情の審査を付託される

池田中学校改築工事の入札をめぐる官製談合事件に伴い、町は西坂建設に20か月の指名処分を課した。

これに対し、緩和を求め陳情書が田岡商工会長から提出され、第1回臨時会で、総務産業常任委員会に審査を付託された。

2月10日

## 提出者から願意の説明を受ける

提出者から内容の説明を受け、質疑した。

その後、指名停止処分が20か月に至った経緯についての説明を担当職員から受けた。

2月15日

## 賛成多数で不採択とすべきと結論

前回の審議を踏まえ、

再度、論議、意見を集約した。

「会社の従業員の生活を考えると陳情の趣旨はある程度理解ができるものの、入札は透明で公平・公正が原則で、金銭の授受がなくても官製談合そのものが悪質で、重い処分が課せられる」とし、「町が行った処分は妥当である」という意見が多数を占めた。

その後委員長を除く5人で採決を行い、4人の委員が不採択に同意。委員会として「不採択とすべき」と結論づけた。

## 文教厚生

### 『池田中学校改築』

1月17日

工事の進捗よく率7割に

3月9日の工期末が近づくと、工事状況の説明を受けながら現地調査。内・外装工事の段階に入っており、順調に作業が進んでいることを確認した。

### 『第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画』

2月29日

介護保険料が1.24倍に

24年度からの3年間の介護保険事業計画の内容について調査した。

介護サービスの基盤整備や予防の推進などの6項目を基本目標に設定。第5期のサービス量は、要介護高齢者の増加と「ぴりか」の増床などに対応するサービスの新設により、介護給付費で4期の1.34倍と推計している。

### 『第3期障がい福祉計画』

2月29日

24年度からの障がい福祉計画の素案について説明を受けた。

4月の計画完成に向け、関係者、関係団体による意見交換会も実施しているとした。

## 官製談合事件の再発防止を求め 入札問題の調査終える

池田中学校改築工事等入札問題調査特別委員会報告書

本委員会は今回の事件を受け、6回の委員会を開催しました。担当する職員から、入札事務全般について経過説明を受け、調査を終了しました。

調査結果と今後について掲載します。

### 「調査の結果と今後の方策」～報告書から～

今回の入札に関しても今までと同様に、地元企業の育成・雇用確保・購買力につながるとして、地元企業の参加を最優先に考えていたが、対応出来る業者が少なく、このことに無理があったとも思われる。調査の結果、次の点が委員会で指摘された。

- ① 地元企業への強い配慮や、学校統合などの問題を考え、短い工期を少しでも早めるため分割発注したが、公告文書に追加指名することの明記が漏れていたなど、事務手続きの一部に不備が見られた。
- ② 入札事務について本来は独立した組織が望ましいが、行政のスリム化による人員減も影響したと思われる。指名委員と事務担当を兼ねるなど、行政組織機構に問題があったのではないか。
- ③ 指名委員会のなかで、業者選定に疑問視する者がいなかったのか、委員として認識が充分であったのかなど、委員会が機能していたかも指摘されている。

これらの背景には、前払金の受領に関し、地元の金融機関の口座開設をお願いするなど、地元経済の活性化への配慮が、相当働いていたことが起因と考慮されるが、このことと透明性・公平公正の確保とは別の問題として、取扱うべきであったと思われる。

今後は、行政組織の見直しを行うとともに、指名委員の選任については熟知した精通者を養成するなどの改善が必要であり、請負・物品発注金額により一般競争入札を導入するなどの工夫も行うべきと思われる。

入札事務全体を通しての透明性を確保し、公平・公正を原則とし入札に関する規定の改正など、事務全般について見直し、再発防止に努めなければならない。

官製談合という重大な事件を重く受け止め、公務員としての倫理を再認識し、町民に対しての信頼回復に、最大限努力していかなければならない。

最後に、再発防止に向けて、町長はじめ全職員が最大限取組むことを求め、委員会の報告とする。

# 議会の主な動き

(23年12月開会の第4回定例会以降)

- 12月7日 第4回定例会(行政報告・議案審議)  
第8回議会広報特別委員会  
第1回条例審査特別委員会  
第1回、第2回池田中学校改築工事等入札問題調査特別委員会
- 12日 第3回池田中学校改築工事等入札問題調査特別委員会
- 14日 第4回定例会(一般質問・議案審議)
- 15日 第2回条例審査特別委員会  
第4回池田中学校改築工事等入札問題調査特別委員会
- 16日 第4回定例会(議案審議)
- 18日 高島中学校閉校式[議長ほか]  
高島中学校閉校惜別の会[議長ほか]
- 21日 第9回議会広報特別委員会  
第2回東十勝消防事務組合議会定例会(幕別町)[議長ほか]
- 26日 第10回議会広報特別委員会
- 24年1月5日 池田消防団出初式[議長ほか]
- 6日 新年交礼会[議長ほか]
- 8日 成人式[議長ほか]
- 10日 第5回池田中学校改築工事等入札問題調査特別委員会
- 12日 新年合同旗開き[議長]
- 13日 第6回池田中学校改築工事等入札問題調査特別委員会  
池田町商工会役員新年顔合わせ会[議長]

- 17日 第1回文教厚生常任委員会
- 23日 第1回臨時会
- 24日 第1回総務産業常任委員会
- 25日 市町村行政懇談会ほか(帯広市)[議長]
- 31日 士幌町議会視察来町[議長]
- 2月6日 自衛隊協力団体新年交礼会(帯広市)[議長]
- 7日 卒業記念・思い出バイキング給食(高島小)[議長]
- 10日 第2回総務産業常任委員会  
池田町農村女性の日[総務産業常任委員長]
- 14日 卒業記念・思い出バイキング給食(池田小)[文教厚生常任委員長]
- 15日 第2回臨時会  
第3回条例審査特別委員会  
第3回総務産業常任委員会
- 17日 白老町議会視察来町[議長]
- 22日 十勝町村議会議長会定例会[議長]
- 23日 卒業記念・思い出バイキング給食(利別小)[文教厚生常任委員長]
- 24日 十勝圏複合事務組合議会定例会ほか[議長]
- 27日 第1回全員協議会  
第4回条例審査特別委員会
- 29日 第2回文教厚生常任委員会

## 意見書

1件を関係機関に送付

◇平成24年度畜産物価格決定等に関する要望意見書

提案者 丹羽泰彦議員

議会中継ホームページアドレス  
[http://www.town.hokkaido-ikeda.lg.jp/page\\_3479.html](http://www.town.hokkaido-ikeda.lg.jp/page_3479.html)

## ネット中継案内

生中継配信予定

6月に平成24年第2回定例会の中継を予定しています。

配信中の録画中継

- 1月23日 平成24年第1回臨時会 副町長の選任 ほか
- 2月15日 第2回臨時会 各会計補正予算、条例改正 ほか
- 3月5～16日 第1回定例会 町政執行方針、一般質問 ほか
- 3月13～14日 平成24年度各会計予算審査特別委員会

このほか、23年4月以降に行われた定例会、臨時会、特別委員会の模様を配信中です。

あと書き

早いもので議員となり11か月となります。23年は東日本大震災に始まり、管内閣から野田内閣に替わり、日本経済はますます厳しくなりました。◆本町は、被災地山田町へ職員を派遣するなどの支援を行いました。◆9月には小規模特養「長寿苑」が開設、10月には町民の念願であった新病院「十勝いけだ地域医療センター」が、新体制「社団法人地域医療振興協会」の基でオープン。3月には池田中学校新校舎が完成。◆喜びとは裏腹に町職員の不祥事や官製談合が大きな問題となりました。◆新年度は、希望あふれる町づくりを目指し、町民の皆様とともに前向きに歩みたいと思います。

赤間 敏